

道南太平洋海域スケトウダラニュース

平成14年度 第5号

2003年2月14日

北海道立函館水産試験場室蘭支場	Tel: 0143-22-2327
	Fax: 0143-22-7605
独立行政法人水産総合研究センター 北海道区水産研究所	Tel: 0154-91-9136
	Fax: 0154-91-9355
海洋水産資源開発センター	Tel: 03-3265-8301
	Fax: 03-3262-2359

道南太平洋スケトウダラ計量魚探調査結果

北海道区水産研究所および海洋水産資源開発センターにより実施されたスケトウダラ計量魚探調査の結果の概要をお知らせします。

- ・調査期間：平成15年1月20日～2月3日
- ・調査海域：道南太平洋の水深50～600m海域
- ・調査船：第7開洋丸

- ・魚群反応は水深80～300mに等深線に沿って帯状に分布
- ・噴火湾内の水深80～90mで局所的に強い反応

1. スケトウダラと考えられる反応は、水深150～300m前後の等深線にそって帯状に分布していました(図1)。
2. 日高支庁管内から苫小牧沖にかけては、魚群反応は比較的薄く、大陸棚外縁部から斜面域にかけての水深150m～300mに多少まとまった反応が観察される程度でした(図2)。
3. 胆振支庁管内登別沖では水深90m前後から反応が見えはじめ、水深300m前後まで続いており、水深150m～200mの大陸棚外縁部で比較的強い反応が観察されました(図3)。
4. 噴火湾内では地球岬沖の水深80～90mに局所的に非常に強い反応が観察されました。湾外では水深150m前後および水深250～300mに魚群が分布していました(図4)。

スケトウダラニュースのページ アドレス：

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/hakodate/muroran/sukeso/sukesonews.htm>
マリンネット北海道トップページからもアクセスできます。

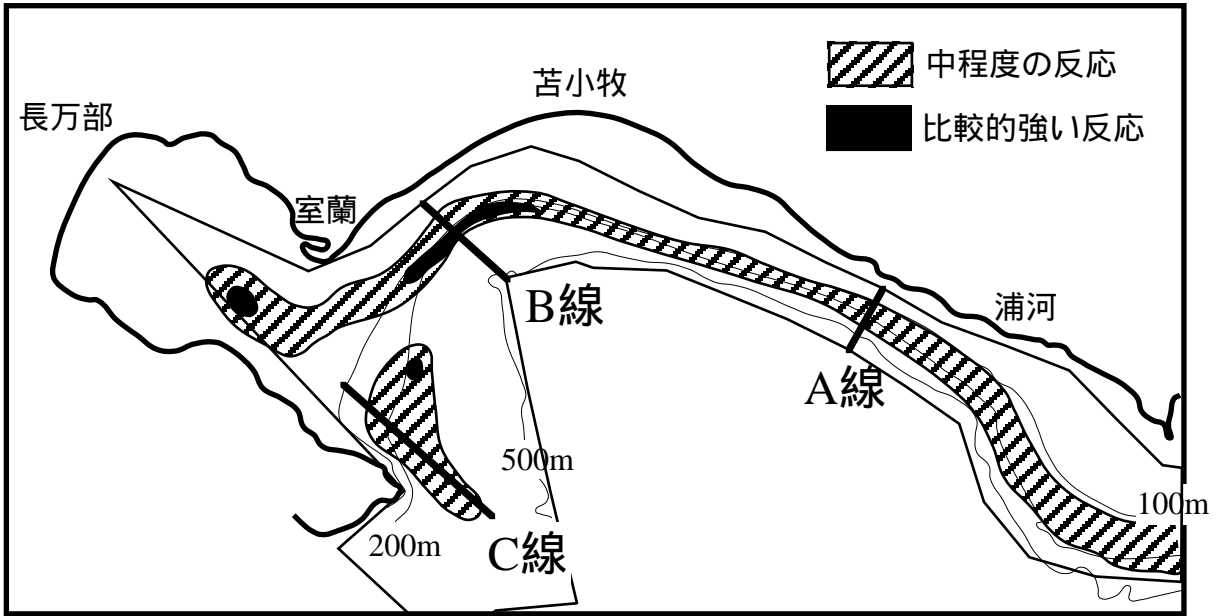


図1．スケトウダラの水平分布

黒枠で囲まれた部分が調査範囲。

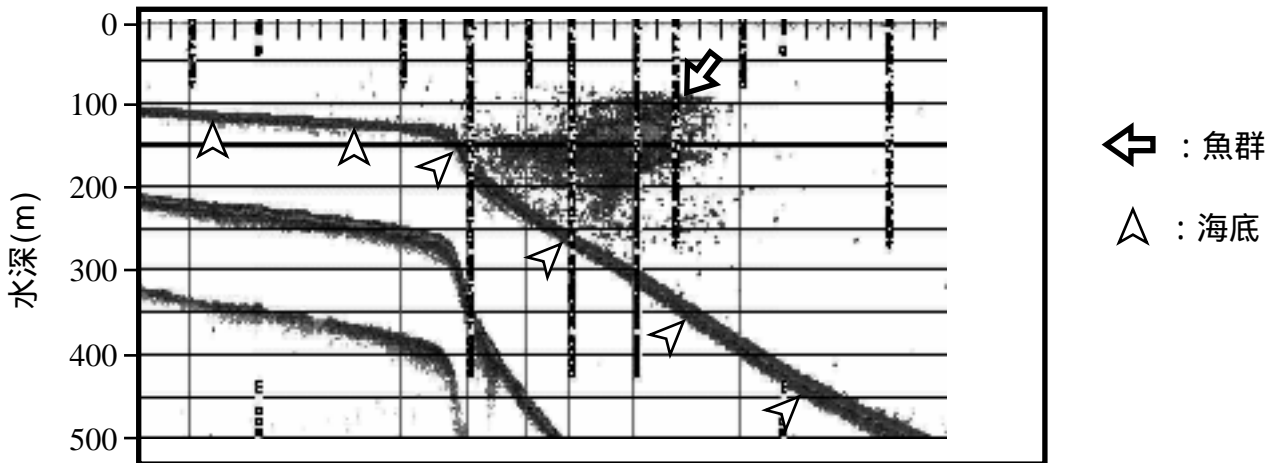


図2．A線の魚探画像（日高海域：夜間）

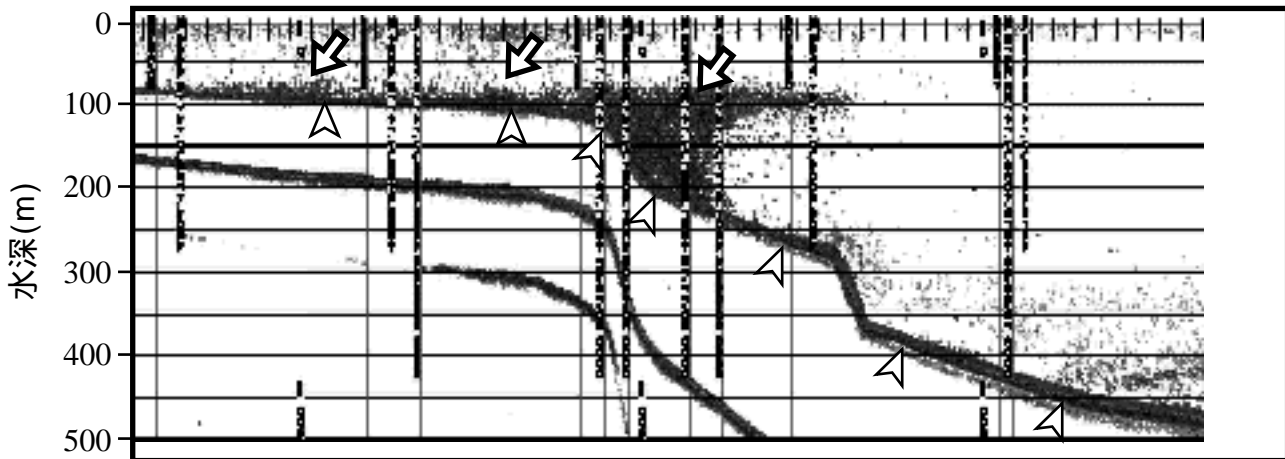


図3．B線の魚探画像（登別沖：夜間）

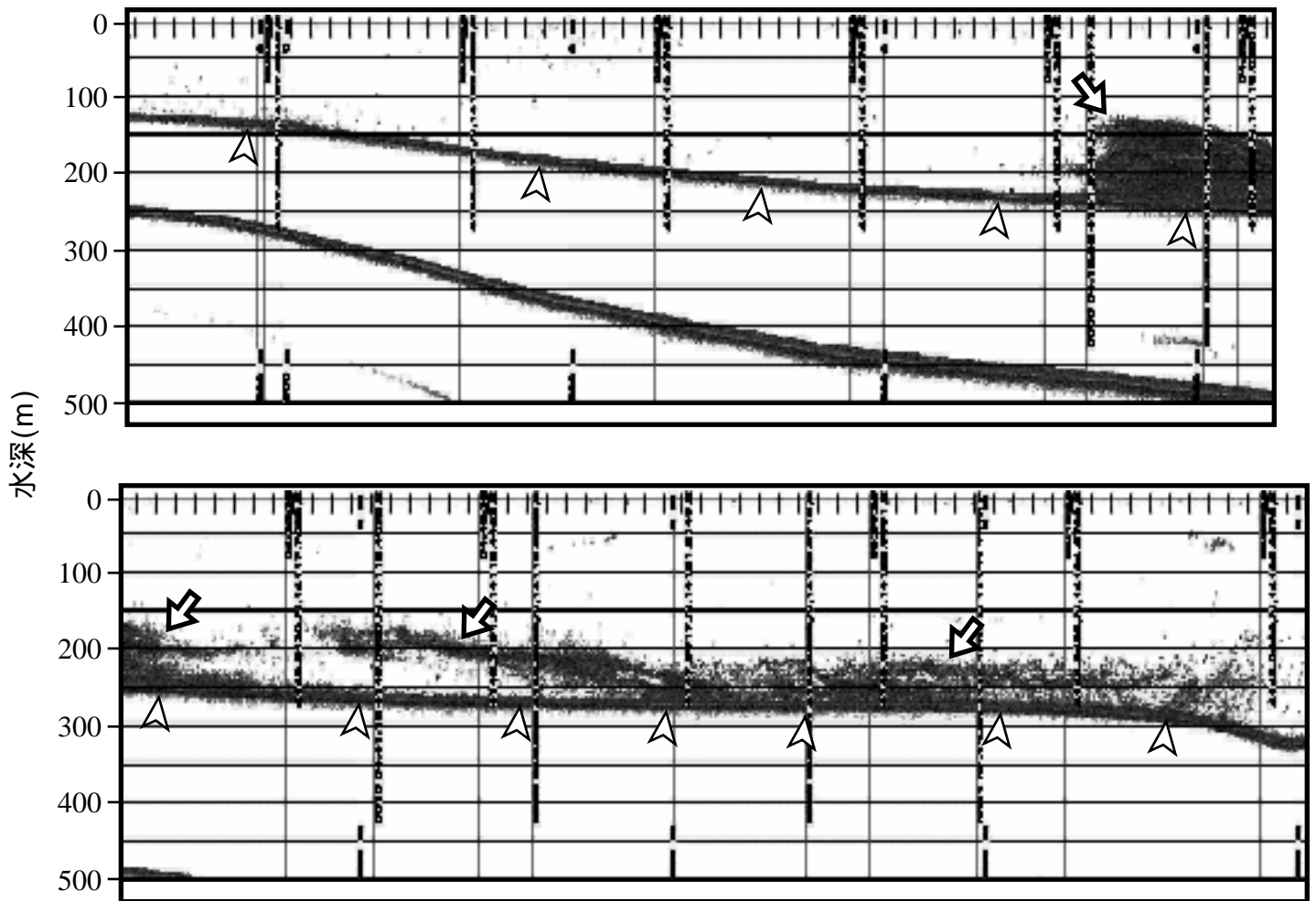


図3 . C線の魚探画像 (渡島海域 : 夜間)

← : 魚群 △ : 海底